

農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

 (24) 農業メインバンク強化について
JAならけん（奈良県）

新規	継続
	○
	（平成 11 年度）

1 動機 （経緯）	JAの本来事業基盤である農業金融サービスの強化を最重要テーマとし、農業メインバンクとして確固たる地位を堅守するため「農業メインバンク機能」を一層強化し、農業者のニーズの把握とサポート機能の発揮に努めます。
2 概要	本店担い手リーダーの下、専任担当者3名による農業融資推進体制を組み、出向く体制による恒常的な訪問活動により、担い手経営体との関係構築・強化を図り農業融資の伸長に結びました。また、平成28年度より、新設された担い手サポートセンターとの事業間連携により、特に助成金事業である「農業所得増大・地域活性化応援プログラム」を活用し、設備投資などを行った先に対し、積極的に融資を行いました。その他、外部講師を招き青壮年部向けのセミナーを開催しました。
3 成果 （効果）	農業法人、大規模農家から資金需要が見込まれる先34先をメイン強化先に指定し、訪問活動を行うなかで資金需要の把握に努めました。また、「農業所得増大・地域活性化応援プログラム」を活用した結果、JAアグリマイティー資金522百万円（前期比+68百万円）、公庫資金452百万円（同+192百万円）、合計974百万円（同+260百万円）の融資を行いました。
4 今後の予定 （課題）	平成29年度は外部講師を招き支店農業融資担当者向けのセミナーを開催しましたが、さらに資金相談レベルアップを図るため、農業金融機能が発揮できるように農業融資研修会を定期的で開催いたします。また、部会や展示会に参加することで、担い手農業者訪問担当者、営農経済センターとの情報共有を密に行い、資金ニーズの把握するなか、積極的に融資できるよう努めます。